

スマホサポーター研修会 参加者募集

視覚障がい者のスマホ操作をサポート

主催：姫路デジタルサポート

日時：6月29日(土) 13時30分から16時

場所：姫路市総合福祉会館5階 第4会議室



姫路デジタルサポート



対象者：視覚障がい者ためのスマホサポートをこれから始めたい晴眼者の方

募集人数：5人、高度な操作技術は不要です。

内容：視覚障がい者が使用するボイスオーバー（アイホンの読み上げ機能）の基本操作と便利な使い方について学習します。

その他：研修会にはアイホンの持参をお願いします。

開催趣旨

◆ スマホは必須の生活ツール

「見えない人」や「見えにくい人」は、スマホのアプリを用いて印刷物を読んだり、スマホを歩行補助として活用したりすることもできます。スマホは、障がいの一部を補償する機能を持っており、視覚障がい者の暮らしを大きく変えると言われています。

当事者は、ボイスオーバーという読み上げ機能を用いてアイホンの操作を行いますが、独学で学習することが困難なため、スマホを使い始める時は、サポートが必要です。しかし、ボイスオーバーの操作をサポートできる人が少ないのが実情で、スマホの普及における大きな障壁となっています。

◆ 多くのサポーターが必要

晴眼者のスマホの使い方とボイスオーバーの使い方とは大きく異なりますので、視覚障がい者の操作をサポートするためには、高度な操作技術は不要ですが、一定の操作知識とスキルが必要です。一人でも多くの人にサポートに参加してもらうため、晴眼者向け研修会を開催します。

問合せ・申込先

メール：姫路デジタルサポート（栗川）

info@digital-society.org

Tel：090-1182-8400



問合せ・申し込みのフォーム

デジタル社会



■デジタルデバインド

スマホは必須の生活ツールと言われて久しいですが、視覚障がい者の中でスマホを有効に活用しているのは、2割にも満たないのが実情です。晴眼者と視覚障がい者との格差、さらに、視覚障がい者の中でも「使える人」と「使えない人」との格差が危惧されるところです。

■私たちのミッション

「近くにスマホの使い方を教えてくれる人や団体がない」ことが、スマホが普及しない大きな原因です。姫路市、明石市、高砂市ではスマホの使い方をサポートする団体が活動していますが、それ以外の地域では、サポート団体やサポートできる人がいません。

私たちのミッションは、そのようなサポートゼロ地域を解消することです。そのためには、多くのサポーターが必要になるので、県下でサポーター 500 人育成プロジェクトを実施中です。



写真 スマホサポーター研修会の様子



ボイスオーバーの基本操作を説明した動画の URL

■どうやってアイホンを使うの？

ボイスオーバーによる音声案内に対して、指の動作（ジェスチャーといいます）で応えて操作を行います。例えば、1本指の右・左スワイプでアイコンや項目を移動し、1本指のダブルタップで決定や実行を行います。詳細は、YouTube をご覧ください。

■スマホ教室の見学を！

姫路、明石、高砂ではスマホ入門講座を開催するほか、毎月定期的の中・上級者向けのスマホ教室や交流会などを開催しています。すべての講座で講師のほか、サポーターがマンツーマンでアドバイスを行います。

障害物や道順を知らせてくれる歩行支援アプリ、活字文書を読み上げる視覚支援アプリ、ラジオ番組を聞くアプリなどに人気があり、多様なニーズに対してサポート活動をしています。



写真 スマホ教室の様子